

令和元年度第1回南丹市有線テレビ放送番組審議会<会議概要>

日 時	令和元年 11 月 28 日 (木) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
場 所	南丹市役所 3 号庁舎 2 階 第 4 会議室
出席者等	<p>■出席委員：9 名 (欠席 3 名)</p> <p>山村隆文会長、木村節子副会長、淵上真奈美委員、桐 敏夫委員、 松村芳男委員、十倉 健委員、山合了輔委員、松村賢治委員、 清水 茂委員</p> <p>■事務局：5 名</p> <p>地域振興部情報課 野々口課長、山内課長補佐 (公財)南丹市情報センター 鳥居事務局長、 廣戸事業課長、 塩貝番組制作室長</p> <p>■傍聴人：0 名</p>

1. 開 会 (事務局)

南丹市情報課長 野々口 挨拶

各組織の役員交代などにより、7 名の方が新しく委員に就任。

また、放送法第 6 条第 6 項第 1 号において「審議機関の議事の概要を公表する」こととなっており、本審議会におきましても、南丹市ホームページなどで議事の概要を公表させていただきます。

2. 委嘱状交付

委員の任期について、規則第 4 条で 2 年間と定められているため、基本は 2 年の任期だが、前任者の残任期間である令和 2 年 3 月 31 日まで。

南丹市有線テレビ放送番組審議会規則第 6 条第 2 項の規定により、本日の出席者が委員の過半数を超えているため、本日の審議会が成立したことを報告。

3. 委員自己紹介

各委員からひと言ずつ自己紹介。

事務局紹介。

4. 議 題

山村隆文会長 挨拶

(1) 南丹市有線テレビ放送番組審議会について

－資料1、資料2、資料3に基づき説明－
質疑なし

(2) 自主放送番組の内容について

－自主放送番組を視聴－

(情報センター) 【資料4に基づき、自主放送番組の取組内容について説明】

(3) 意見交換・その他

(委員) 紹介番組の中で存在しない組織が紹介されるなど、最新の情報になっていない所が見受けられる。情報の正確性については放送するまでに確認が必要と思う。

学校関係の放送について、繰り返し同じ番組が流れているが、あれだけ何度も過度に放送する必要があるのか。

議会の中継について、定点固定カメラでいつも同じ人が映っていて臨場感が感じられない。

議論している姿が感じられるようにもう少し撮影方法やアングルに工夫をお願いする。

CATV料金が少し高いと思う。

(事務局) 番組の中で紹介した組織等の内容は、基本取材時に頂いた書類で作成している。今後は確認を十分に行う。

再放送の回数について、色々な方のご意見の間をとって現在の再放送回数としている。ご理解をお願いする。

議会中継のカメラや放送については、頂いたご意見を踏まえて、今後さらに工夫を考えていきたい。

CATV料金については、南丹市全域の広大な放送施設を維持していくためにはどうしても経費が必要となる。利用料金についてはご理解をお願いする。

(委員) 学校行事等の再放送回数について、現在の回数については妥当であると思う。

学校への取材は情報センターから依頼しているのか、それとも、学校側から行事予定の提供や取材依頼があるのか伺う。

(事務局) 情報センターから取材を依頼する場合や、学校側から積極的に持ち込まれて依頼を受ける場合もある。放送内容や情報収集には引き続き努力して行く。

(委員) あまり自主放送番組を見る機会がないが、主に女性の方が見られていると思う。
先日も大変良い番組があったと聞いている。
利用料金については現状から下げられないとの事であるが、なんとか努力いただいてサービス内容については拡充して頂けたらと思う。

(事務局) 利用料金については、引き続き検討する。

(委員) 取材は大変だと思うが、地域の記録として映像が残っていく事は大変貴重だと思う。

しかしながら、限られた人材、資材、また撮影では色々な制約もある中で、各地域でこういった事に興味のある方を、発掘養成して活用しながら記録を残していくことがこれから必要になってくるのではないかと思う。

(事務局) 情報センターとしても、番組制作に参加してもらえるように地域の方々を育てて行ける取り組みを考えていきたいと思う。

(委員) 自分に関係のある番組以外、実際はあまり自主放送番組を積極的には見ていない。
提案として、番組や取材に応じて、今と過去の映像を対比して見られるような番組があると人気が出ると思う。

自然豊かな南丹市の景色を季節の移り変わりを感じながら、空撮映像で見てみたいと思う。

(事務局) 過去の映像を記録することは大切だと感じているので、今頂いたご意見を参考に企画を考えたいと思う。

四季を題材にした空撮番組等の取り組みも、次年度以降何か考えていきたい。

(委員) 地域の細かな内容を伝えられるように工夫して放送されている事に感心した。
なるべく積極的に見るようにしているが、文字放送についても、非常に細かなところまで情報を提供されていると感心した。

(委員) CATVがなければ、この広域な南丹市の色々な地域の情報を知ることができなかった。

京都丹波全域で歴史のもっと深いところを発見して、南丹市の方々へ放送していただけたらいいと思う。

(委員) 災害時や台風時には通常放送を止めて、ライブカメラのリアルタイムな映像や防災情報を文字放送等でもお知らせできるように柔軟な対応をお願いしたいと思う。

(委員) 映像を編集放送していく中で撮影した個人情報の関係はどう整理されているのか。

インフルエンザや学級閉鎖等、今流行して市民が関心のある色々な情報を放送することができないか。

現在、明智光秀、立藩四〇〇年等、色々な取り組みをされており、来年は大河ドラマの放送も予定されているが、それらに向けて情報センターとしてどのような取り組みを考えておられるのか教えていただきたい。

(事務局) 個人情報については、取材した映像を所管されている、団体や学校、個人に許可を得ていることを前提としているが、場合によっては色々な条件等が付く時があるため、その際には個別に配慮するなど事前に許可を得ることとしている。

明智光秀や大河ドラマ放送に向けて、歴史的に知らなかった事や知ってほしい事を調査しながら、現在どのような企画番組を作っていけるのか検討している。

5. 閉 会

木村節子副会長 挨拶